

～公共交通を考える 第2版～

皆様には、日頃から市政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、南部地域の皆様と協働で「新しい総合公共交通システム」の構築に取り組んでいるところです。

南部地域におきましては、7・8月に続き、10月に「第2回公共交通に関する住民意見交換会」を開催し、具体的な運行計画（素案）についてご協議いただきました。本広報は、第2回意見交換会でご協議いただいた内容をまとめています。引き続き、皆さまのご意見をいただきますようお願い申し上げます。

①南部地域運行計画の全体像（検討中）

幹線と支線を設定します。支線で乗車し鳥取駅まで行くときは、乗継拠点での乗継が必要です。

幹線（鳥取駅～用瀬間）

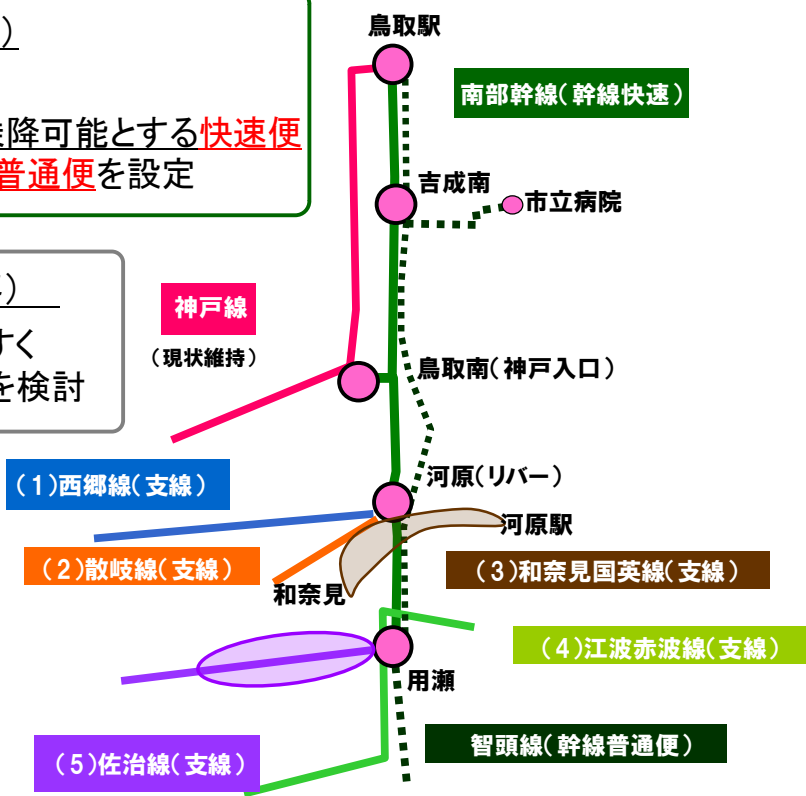
- ・高い頻度で運行
- ・主な乗継拠点でのみ乗降可能とする**快速便**と全バス停で停車する**普通便**を設定

支線（乗継拠点～集落）

地域の人々が利用しやすく持続可能な運行方法を検討

乗継拠点

- (1)西郷線
- (2)散岐線
- (3)和奈見国英線
- (4)江波赤波線
- (5)佐治線



②第2回意見交換会の開催の状況

開催日	時間	地区名	参加人数	開催日	時間	地区名	参加人数
10月17日（月）	19:00～	西郷地区	15人	10月 7日（金）	19:00～	佐治	40人
10月19日（水）	19:00～	八上地区	15人	10月26日（水）	19:30～	社地区	11人
10月20日（木）	19:00～	河原 散岐地区	11人	10月27日（木）	19:30～	用瀬 用瀬地区	10人
10月21日（金）	19:00～	河原 国英地区	9人	10月31日（月）	19:30～	大村地区	14人
10月25日（火）	19:00～	河原地区	14人				
		参加人数合計	139人			平均参加人数	15.4人

③各地区共通のご意見とその回答

Q1. 乗り継ぎ拠点ではどのような環境整備がなされるのですか？

A1. 待ち時間を少なくするダイヤ設定とともに、待合環境は出来るだけ良好な環境をつくりたいと考えています。具体的には、上屋整備のほか駐輪場の設置等を検討するとともに、将来的には、地域活性化に繋がる魅力向上策を検討していきたいと考えています。

Q2. 運賃はどうなりますか？

A2. 運賃はわかりやすい運賃体系を検討していますが、可能な限り今より高くないよう検討をしていきたいと考えています。また、運賃は今年度中の決定を予定しています。

Q3. 利用者へのメリットなど検討していますか？

A3. 基本的な運行サービスを充実させるだけでなく、利用促進策としてエコ通勤の推進などを図りながら、バス利用者への優遇策について様々な方法を検討していきたいと考えています。

Q4. この計画でも、かなりの補助金が必要になるのではないですか？

A4. 現状の体系では、利用者の減少がサービス低下を招き、さらに利用者が減少していくことが予想されます。採算性につきましては、市民全体での公共交通の利用促進を図らない限り黒字運行は不可能です。今回の実証運行の目的は、皆さまにご利用いただけるサービスを提供し、適正なサービス水準の検証を行い、生活交通確保、外出機会の増加等を図っていききたいと考えています。シミュレーションを行い、運行便数などを決定し、利用促進を図っていききたいと考えています。

※各地区のご意見は裏面に掲載しています

****ご意見承ります****

公共交通計画に対するご意見を広く募集いたしますので、下記までお気軽にお寄せいただきますようお願いいたします。

【募集締め切り 平成23年12月9日（金）】

◇鳥取市都市整備部交通政策室

〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地

電話 0857-20-3257

E-mail : kotsuseisaku@city.tottori.lg.jp

④各地区のみなさんの主なご意見とその回答

西郷地区

Q：神馬発の朝1便を設定できませんか？

A：ご指摘の便は、現在乗合タクシーが運行されていますが、非常に利用が少ない状況です。設定について検討をいたします。

Q：夕方便を充実できませんか？

A：夕方便の充実は必要と考えますが、利用の少ない時間帯では減便すること等も併せて検討する必要があります。

Q：夏季・冬季便を設定できませんか？

A：支線運行とすることで、地域の実情にあったダイヤの変更の検討は可能と考えています。ただ、ダイヤ変更はすぐには行えないため、運行を行いながら実態に合ったものとしていきたいと考えています。

Q：乗継ではなく、鳥取駅までの直通便を設定できませんか？

A：佐治地区の回答と同様です。

佐治地区

Q：乗継ではなく、鳥取駅までの直通便を設定できませんか？

A：幹線は通勤・通学等に対応するため、現状の路線バスを基本に高い頻度で運行することとしています。一方、支線は需要に見合った車両サイズで地域の実情にあった持続的な運行方法を検討しています。すべての地域から直通便を通すことは、車両数等を考慮した場合、地域全体の利便を考慮した運行が困難となることが予想されます。そのためこれを解消するために「①乗継抵抗を少なくする待合環境の整備」、「②待ち時間が少ないダイヤ設定」をはじめ、乗継抵抗緩和の方策を継続して検討していきたいと考えます。

社地区

Q：JRとの接続はしてもらえますか？

A：江波赤波線は、現行が小中学校利用便を中心に運行されており、高校生の通学や通勤で利用できない体系となっています。JR接続についても検討します。

Q：夏季・冬季便を設定できませんか？

A：江波赤波線の季節便の設定についても事業者と協議してまいります。以下、西郷線と同様です。

八上地区

Q：乗継が不便にならないようにしてほしい。

A：乗継が不便にならないよう「①乗継抵抗を少なくする待合環境の整備」、「②待ち時間が少ないダイヤ設定」をはじめ、乗継抵抗緩和の方策を継続して検討していきたいと考えます。

河原地区

Q：快速便ではなく、すべてのバス停で停まってもらえないですか？

A：幹線は普通便と快速便を検討しており普通便は既存のすべてのバス停で停車を検討しています。

Q：この地域にとってのメリットがないのではないですか？

A：幹線は、速達性を重視することとしており、南部地域全体の交通サービス向上を図り、現在、クルマを利用している通勤・通学者の公共交通への転換を図りたいと考えています。

散岐地区

Q：デマンド（予約）便は自分の行きたいところに行ってもらえますか？

A：時間、運行地域により異なりますが、基本的には定められた区間の運行になります。

★ **村をあげて利用促進に協力したい。**

A：運行計画作成後は、地域の皆様と利用促進に向けた方策を検討していきたいと考えています。

大村地区

Q：幹線は、JRと競合することにならないのですか？

A：鉄道・バス双方での利用促進を目指しています。JRとも接続が難しい時間は、幹線との接続でフォローすることなど検討しています。

Q：デマンド（予約）便とはどんな運行ですか？

A：きまった場所を出発する時間は決まっているので、それに合わせて予約していただくことになります。

Q：定時定路線のバスは減便されますか？

A：利用がない便は予約型（デマンド）便の検討を行っています。予約型としても利用可能な便数を増やしたり・集落付近への運行を可能とし、利便性の向上を図りたいと考えています。

Q：夏休みの子どものプール便は維持されますか？

A：通学をはじめとして従来、児童の皆様にご利用いただいている便は継続して運行します。

国英地区

Q：詳細な乗車位置はどうなりますか？

A：予約型（デマンド型）運行の場合、道路条件等にもよりますが、車両回転場の確保等が可能であればなるべく、集落内までの運行サービスの提供を検討したいと考えています。

用瀬地区

Q：鳥取駅に着いてからの交通手段は検討しないのですか？

A：市街地路線の他、他地域の再編についても順次検討を図っていく予定としています。

